

NEWS 吉祥祭

広報PDF第5号

発行：吉祥祭実行委員会

発行日：2016年9月14日

こんにちは、吉祥祭実行委員会です。

今回は、吉祥祭で毎年注目を集めるゲートの制作について紹介します。

これを読んで、当日の完成を楽しみにしていただけると嬉しいです！

ゲート制作委員会

ゲート制作委員会は、吉祥祭当日に校門を飾るゲートを制作しています。委員会メンバーは、中学2年生以上を対象に参加者を募集し、今年は25人で構成されています。

ゲートは、毎年来場者の方々の目を引く作品となっていますが、今年はどんなものができるのでしょうか。とても楽しみです。

今回は、高校2年のゲート制作委員長に話を聞きました。

↓↓↓次のページ

- ・ゲートが完成するまで
- ・ゲート制作委員長にインタビュー！



↑昨年度のゲートの様子

ゲートが完成するまで

4月
吉祥祭テーマ発表



イメージフラッシュ



デザイン決定



小模型制作



本体制作



終日準備期間

設置



まず、吉祥祭テーマの発表を受け、イメージフラッシュというものを2回ほど行います。イメージフラッシュとは、連想ゲームのようなもので、テーマから思いつく単語をたくさん出し、その中から投票でメインモチーフとなるものを選びます。これはポスター制作委員とも共有します。ポスター制作委員会はポスター・チケット・パンフレットの表紙の制作を担当しているので、同じモチーフを使うことで、統一感を出そうという狙いです。メインモチーフを決めた後、各学年一枚ずつデザイン案を考え、プレゼンテーションを行います。その案をもとにゲート制作委員の高校2年生が話し合い、各学年のデザインも少しずつ取り入れながら、最終決定は委員長が行います。

「吉祥祭テーマ発表 → イメージフラッシュ → デザインの決定 → マケット(小模型)の制作 → 本体の制作 → 終日準備期間で設置」という大まかな流れは毎年ほぼ変わりません。しかし、デザインはもちろん全体の構造も年々変化しています。その年のデザインにより、どのような構造なら設置可能かということを一から考えるので、その年ごとにゲートの裏側、土台部分の構造は大きく変わってきます。

ゲート制作委員長に聞きました！

今年のゲート、工夫したところは？

今年のゲートのポイントは、たくさんの素材です。今までは主に木材やダンボールを使い、異素材を取り入れるといっても一か所、小さく入れているだけだったのに対し、今年は様々な種類の素材を使います。入手・加工方法も一から調べました。針金、テニスボール、段ボール、ベニヤ板、木材、ポリカーボネート、スタイロフォーム等、本当にたくさんの素材を使っています。また、表面からは見えませんが、今年は土台がより頑丈にできています。雨や荒天の場合に備えて、土台部分は木材で制作し、どうすれば安定し、かつ生徒の力で設置ができるのかをよく考えた上で作っています。

吉祥祭テーマ「平成世代」について

テーマについて思ったことは、幅の広いテーマだということです。平成世代といっても様々な人々が含まれていて、その中での社会問題や文化、それぞれの活躍などを入れなければならない。多様な価値観が混在し、ベクトルの違うものを多く含むテーマだと思いました。

ゲート制作委員会の方々、ご協力ありがとうございました！ 完成に向けて頑張ってください。

また、ご来場の際は、ポスター制作委員会が作っているチケットやポスター、当日配布されるパンフレットの表紙にも、ぜひご注目ください！

吉祥祭まで、あと

3日！！

(9月14日時点)

吉祥祭までの日数は残すところわずかです。現在は各団体の進行度チェックなどが行われています。多くの団体にとって忙しい時期となってきましたが、本番に向けて頑張っていきましょう！

ゲートの完成も楽しみですね。吉祥祭にいらした際はぜひゲートに注目してみてください！！

次号もよろしくお願ひします！！